

世界へ駆ける 16 歳のライダー

16歳でロードレースライダーとして活躍する本間国光さん。2024年に開催された筑波ロードレース選手権でチャンピオンに輝き、今年は全日本ロードレース選手権 JP250^{*}クラスで活躍しています。世界を夢に戦う、若きライダーに目標などを伺いました。

ロードレースライダーの本間国光さんは、小さな頃から憧れ続けてきたバイクの世界に16歳という若さで本格的に挑んでいます。

「仮面ライダーが好きで、本物のバイクを見るために父と一緒に買った間瀬サーキットが、競技を始めるきっかけになりました。レースを間近で見て、バイクの世界に引き込まれました」

6歳の頃から、プロライダーの青木宣篤^{のぶあつ}さんのチームに所属し、バイク競技を始めた本間さん。2024年には筑波ロードレース選手権でシリーズチャンピオンを獲得しました。

「小さい頃から戦ってきた同世代のライバルに負けたくないという気持ちが強かったです。それが結果につながったと思います」



ほんま くにみつ
本間 国光さん(秋葉町4丁目)
ブルー クルー チーム ノリック
● BLU CRU Team Norick+MGR.& YSS 所属
(ヤマハ発動機)



ユートチューブ
◀ 全日本選手権の様子は、YouTube (チャンネル名: motoバトル LIVE) で配信しています。

▶ 世界を目標にレースに挑む本間さん



現在は、全日本ロードレース選手権 JP250 クラスに参戦。YAMAHA 若手育成プログラム BLU CRU^{ブルー クルー}内でトップの成績を収めることができると、ヨーロッパの大会への参戦権を獲得できます。

最後に、本間さんのこれからの目標について伺いました。

「夢は世界最高峰のカテゴリーである、MotoGP^{モトジョーピー}に出場して、戦うことです。目標を明確にして、一歩ずつ進んでいけば夢は現実になると信じ、夢の舞台に向けて突き進んでいきます。また、バイクレースは多くの支援があつてこそ成り立つスポーツです。スポンサーやファンの皆さんの応援が大きな力です。結果で恩返ししたいです」

※ロードレースのカテゴリの一つ。参戦できるマシンは、4ストローク 250cc の市販車をベースとした車両となっています。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



今年も燕市産の農産物のPRと消費活性化を目的とした「つばめ食べて応援キャンペーン」を、8月1日から実施しています。

昨年は、1万7千件を超える応募があり、関連した売上金額は約8240万円となるなど、多くの人からご参加いただき、燕市産農産物の認知度向上や消費活性化につながりました。

今回も豪華賞品を多数用意。飲食店などを対象としたLINEデジタルスタンプラリーも開催します。ちょうど燕応援フェニックスクーポンも始まります。期間は11月7日(金)まで。どんどん食べて農家のみなさんを応援しましょう！

◀ こちらは有料広告です。

スマホが **さんしん** の窓口!

さんしん バンキングアプリ

ご利用 **無料**

残高照会

入出金 明細照会

お知らせ 通知

三井信金庫

各種ローン 受付

スマホ通帳機能

IBサービス 利用申込

個人IB連動 振込

アプリのダウンロードはこちら

iPhoneをご利用の方

Androidをご利用の方

※AppleはApple Inc.の登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスです。

※Android, Google Play, Google Playロゴは、Google Inc.の登録商標です。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。